

# ぎかいの木

## CONTENTS

9月定例会の審議……………P2～3  
常任委員会審査報告……………P4～5  
決算特別委員会……………P6～7  
一般質問……………P8～13  
第4回臨時会……………P14  
所管事務調査報告……………P14  
議会報告会のお知らせ……………P16

NO.76 令和4年11月1日号

9月定例会などの内容をお伝えします。



「30年に一度」という豪雨災害

翌日になっても引かない水に困惑する住民  
(8月3日 鷹巣字北中家下 地内)

令和4年  
9月定例会

令和4年度一般会計予算

災害関連補正予算など

34億7834万9千円を追加



9月定例会の主な議事

- 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度一般会計補正予算）
- 北秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和4年度一般会計補正予算（第5号・第6号）
- 令和4年度各特別会計補正予算
- 令和4年度各事業会計補正予算
- 財産の無償譲渡について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 令和3年度各会計決算の認定（20会計）
- 人権擁護委員候補者の推薦

令和4年北秋田市議会9月定例会は、9月12日から10月11日までの30日間の会期で行われました。

今定例会では、承認1件、条例案1件、補正予算案5件、単行議案5件、認定20件、陳情1件について審議し、いずれも可決及び採択しました。また、最終日には、8月の豪雨災害に伴う災害復旧費等を盛り込んだ一般会計補正予算や人権擁護委員の推薦、発議案4件が追加提案され、いずれも可決及び同意しました。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

- 【再任】 柴田 榮則 氏（五味堀）
- 【再任】 吉田 幸子 氏（川井）

◎令和4年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和4年度一般会計補正予算は、34億7,834万9,000円で、総額は273億2,616万8,000円となりました。主な事業とその予算額は次のとおりです。

主な補正予算	予算額
ふるさと納税事業	158,722千円
地方交通対策事業	3,724千円
マイナンバーカード出張申請事業	8,811千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	3,504千円
秋田内陸線災害復旧支援事業	93,700千円
災害り災者自立支援金支給事業	700千円
農業経営等復旧・再開支援対策事業	64,794千円
農業・漁業経営フォローアップ資金利子補給事業	1,942千円
農地農業用施設災害復旧事業	1,769,984千円
林業施設災害復旧事業	85,572千円
公共土木施設災害復旧事業	336,600千円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	285,090千円
エネルギー・食料品等価格高騰緊急支援事業	86,972千円



「認定第1号 令和3年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について」の起立採決

## 賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	採決結果	清明会					新創会			日本共産党議員団		未来きたあきた			公明党	無党派			
		小笠原 寿	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	虻川 敬	杉淵 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	佐藤 光子	永井 昌孝	五代儀義富	福田 牧子	福岡 由巳
認定第1号 令和3年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●
認定第18号 令和3年度北秋田市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●

※議長は、過半数で議決すべき場合「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、採決には加わりません。

### 賛成・反対討論

#### ▼認定第1号

#### 反対討論 久留嶋 範子 議員

コロナ禍で多くのイベントが中止のもと、キティ事業を計上。やめる決断が一年遅く、一方で配食サービスを減らした。無駄な金を支出し、福祉サービスを削り市民を困らせた。

#### 賛成討論 永井 昌孝 議員

監査報告書にもあるとおり、普通会計における経常収支比率は1.2ポイント、実質公債費率が0.8ポイント、将来負担比率が19.8ポイント改善されており適正である。

#### 反対討論 福岡 由巳 議員

財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は94.2%と依然高止まり。早期に平成27年度時の80%以内に抑えるべき。「自由に使えるカネが6%弱」では厳しい財政。

#### ▼認定第18号

#### 反対討論 三浦 倫美 議員

新型コロナウイルス感染症対応の補助金による増収は一時的であり、地域医療拡充、病床稼働率向上、病院経営改善への根幹である医師確保強化の予算が不足しており反対する。

#### 賛成討論 永井 昌孝 議員

コロナ禍において、さまざまな制限や計画変更が余儀なくされる場面が多数あったなか、しっかりと状況を判断し、政策を打ち出して滞りなくスムーズに業務を執行された。

#### 反対討論 福岡 由巳 議員

開院11年、減価償却費である納付金が初めて納付。今後も継続すべき。救急患者の対応、患者の圏域外流出60%、待合時間が長い等を改善するため常勤医師の大幅増員こそ重要。

## 皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名		
原油価格・物価高騰への対策強化を求める意見書提出についての陳情		
請願・陳情者氏名	結果	意見書
北秋田市商工会 会長 藤岡 茂憲	採択	提出





## 総務文教常任委員会 住宅の無償譲渡の選考基準は

〔委員長〕小笠原 寿 〔副委員長〕五代儀義富 〔委員〕福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案1件、予算案1件、単行議案3件の計6件でした。

令和4年度一般会計補正予算の総務部・総合政策課の審査では、大館能代空港3便化定着に向けた事業として、12月から実施予定であった片道5千円の増額助成を10月に前倒しするための補正に対し、委員から「利用者は市と県にそれぞれ申請が必要であるが、利便性を上げるため、窓口を一つにし、1回の申請で済ませることはできないか。また、2つを合わせ往復2万円の割引きとして宣伝すれば、インパクトも大きくなるのでは」との質疑があり、当局からは「利用者から、2回の申請は手間がかかるといった声は聞こえている。県は旅行会社に委託して審査しているが、連携できるか今後協議を行いたい」との答弁がありました。

教育委員会・学校教育課の審査では、タブレット端末を活用した家庭学習の推進のため、不適切なサイトへのアクセスを防止するフィルタリン

グソフトの使用料に係る追加補正に対し、委員から「この事業は市の教育委員会として考えて実施する事業なのか」との質疑があり、当局からは「予算は市独自となるが、文部科学省からのガイドラインに基づき実施するものである」との答弁がありました。

単行議案の財産の無償譲渡についての議案について、委員から「移住者の選考基準は」との質疑があり、当局からは「子供がいる世帯や若い夫婦で、将来的に移住して子育てされる世帯等を考慮して選定した」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、全議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 小笠原 寿）



無償譲渡した住宅

人口減少の歯止め策として

## 市民福祉常任委員会 北秋田市病院事業収益増へ

〔委員長〕佐藤重光 〔副委員長〕三浦倫美 〔委員〕虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子／佐藤光子

当委員会に付託された案件は、予算案4件でした。

令和4年度一般会計補正予算の審査では、高齢者生きがい活動促進事業補助金について、委員から「農業と福祉の連携事業として、高齢者が地元農作物の調理、販売等を通して、介護予防を図る取組に対する補助金との説明があったが、具体的な事業内容は」との質疑があり、当局からは「設備の整備費と運営費の部分が該当になる。また、事業の応募の段階では、遊休施設となっている旧自治会館の改修費用と、食品衛生法上の許可を得るための冷蔵庫等の設備に該当する」との答弁がありました。

### 前年度は収益増も

### 今後の見込みは

令和4年度病院事業会計補正予算の審査では、委員から「収益が上がった理由の説明があったが、引き続き、その状況が保てるような状況にあるのか」との質疑があり、当局からは「令和4度以降の見通しとしては、指定管理業務

の収支決算は厳しい状況が続くと見込んでおり、令和3年度のように余剰金を生み出すことは難しいと考えている」との答弁がありました。その主な理由として、今後の見通しについて触れ「外来と入院患者数が減り、また、不採算地区中核病院の政策的医療交付金の継続については、明らかに不足している。更にコロナの関連補助金についても、昨年同様にあるということも確認できておらず、そのほか建物、機械の老朽化による更新も必要である」との答弁がありました。

（委員長 佐藤重光）



北秋田市民病院

## 産業建設常任委員会 大野台ハイランド体育館の今後は

【委員長】杉淵一弘 【副委員長】松橋久敏 【委員】永井昌孝／長崎克彦／福岡由巳／久留嶋範子

当委員会に付託された案件は、承認1件、予算案2件、単行議案2件、陳情1件の計6件でした。

専決処分承認を求める令和4年度一般会計補正予算の農林課関連では、委員から「今日の予算は、8月15日現在までに調査した結果で予算計上したものか」との質疑に、当局からは「8月15日現在で早急に国へ補助申請を行うため、必要な予算を計上したものである」と、また、委員から「その他については、今後の補正で対応するのか」との質疑に、当局から「その他の工事費等は、今議会で追加提案をした」との答弁がありました。

次に令和4年度一般会計補正予算の農林課関連では、委員から「ナラ枯れ等防除委託について、ナラ枯れの現在の被害状況はどうか」との質疑に、当局からは「今年度予定した部分のパトロールで被害が広がっている状況であるため、市全体でも広がっていると思われる」との答弁があり、また、委員から「監視体制はどう対応しているか」との質



ハイランド体育館  
解体の方向で検討

疑に、当局からは「市の業務として行っていることではないが、県の担当からの情報や報告に基づいて予算化している」との答弁がありました。

商工観光課関連では、委員から「大野台ハイランド体育館の今後について、解体もあり得ると思うが、どのような予定か」との質疑に、当局からは「昭和60年に建設されたもので、老朽化も激しい。今後の利用状況等を勘案し、存続は非常に難しく、公共施設等総合管理計画の中の個別施設計画でも廃止の方向で検討している」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 杉淵一弘)



## 閉会中の所管事務調査 委員長報告《抜粋》

### 総務文教常任委員会

8月9日、4月にリニューアルされた『合川公民館について』の調査を実施しました。

大型の展示物に対応したホールへの搬入口や、イベント時に近隣に配慮した防音設計、さらには長時間の停電に備えた自家発電システム等の最新設備に加えて、迎えて来た保護者を見つけやすいように窓に面したスタディコーナーや、キッズコーナーに導入した木の玩具も好評で良い施設が出来たと感じました。水害の避難所としての使用に適さないという事については、質疑がありましたが、そのことも前提として検討が重ねられた事の説明を受けました。

(文責者：副委員長 五代儀義富)

### 市民福祉常任委員会

8月4日に「もろびこども園」と「北秋田市障害者生活支援センター（ささえ）」の調査を実施し、説明を受け質疑をしました。

「もろびこども園」は、障害のある児童への日常生活に必要な指導及び訓練を行うことにより、児童の育成を助長することを目的に設立され「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」の事業を行っている。

「ささえ」は、障害者その家族等からの相談、日常生活上必要な訓練・指導、本人援助活動、権利擁護等への援助を行い、障害者の自立と社会参加の促進を目的に活動しているとの説明を受けました。

(文責者：副委員長 三浦倫美)

### 産業建設常任委員会

8月24日に『畜産振興（(株)ノースランド新養豚場）について』の調査を実施しました。

新養豚場は、北秋田市七日市字門ヶ沢地内に今年3月に完成しています。当局から施設の概要や生産計画について説明を受け、質疑を行いました。委員から「年出荷頭数について、前の所管事務調査時から減った理由は」との質疑があり、担当者からは「今の計画は年2万6000頭であるが、追加の施設整備が予定されており、出荷頭数は前に示した年6万数千頭規模になる」と答弁がありました。現地では会社の案内で、豚舎や糞尿処理施設を視察しました。

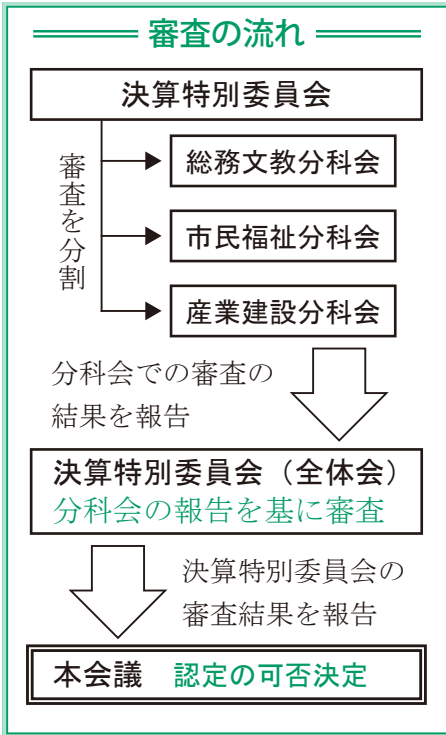
(文責者：副委員長 松橋敏久)



# 決算特別委員会

今定例会には令和3年度各会計決算の認定20件が提出されました。

議会では、広範囲に及ぶ決算審査を専門的かつ効率的に行うため、9月12日の本会議において、議長と議会選出監査委員を除く16人の議員を委員とした決算特別委員会を設置しました。



9月12日に委員会を開催  
委員長に長崎克彦委員

9月12日に決算特別委員会を開催し、委員長と副委員長を互選したほか、より詳細な審査を行うため、審査は常任委員会を分科会として位置付けた「分科会方式」で行うこととし、分科会委員長は各常任委員長が務めることに決定しました。

## 総務文教分科会

委員 ハロキティ事業が4年目の令和3年度で終了した。終了にあたり事業全体をどう総括しているか。

答弁 平成30年度から4年間、事業を展開し、この間、市のイメージなども高まったと判断している。賛否両論あったものの、「市のイメージが良くなった」「夢を与えてくれた」などの声もあり、一定の効果はあった。

分科会委員長

総務文教 小笠原 寿  
市民福祉 佐藤 重光  
産業建設 杉渕 一弘

各分科会の審査の中で出された質疑及び答弁を要約してお伝えします。



分科会ごとの市長に対する総括質疑

間の投票時間の繰上げを実施しており、県内市町村でも2時間を超える繰上げは、ほぼ無い。また、選挙ごとに投票時間を変更することも考えられるが、選挙間で整合性がとれなくなり、更には選挙人に混乱を来たすおそれがあることから、現状が妥当と考えている。

## 市民福祉分科会

委員 食の自立支援事業委託の食数1日1食への変更は

利用者の健康維持、食の自立支援の面から後退であり、変更すべきではなかったのではないかと。

答弁 この事業は、在宅生活において、高齢で調理が困難な方に対し、自立した食生活を送るための支援で、

安否確認を兼ねて食事を提供することが目的である。全面的に食事を提供することとは、食の自立支援という目的を鑑みたときに、心身機能の低下を招くという観点から食数制限したもので、

委員 選挙の投票環境が変化する中、選挙当日の投票時間の繰上げなど、有権者の利便性を低下させることなく財政負担の軽減を図るべきでは。

答弁 すでに2時間又は1時



北秋田市民病院

変更後も本市のサービスは高い水準を維持している。  
**委員** 地域医療の拡充と経営改善の根幹である医師確保への予算が不足していたのではないか。

**答弁** 医師確保対策の大きな柱として、北秋田市民病院開院当初から、北秋田市民病院常勤医師奨励金制度を設け、医師確保に取り組んでいる。当院の医師充足率は、開院から平成29年度までは100%に満たない状況が続いたものの、平成30年度からは100%を超え、令和3年度は138.1%の充足率を確保するなど、本制度は医師が勤務する病院を選択する際の動機付け

**産業建設分科会**

の一つである。一方で、常勤医師がいない診療科もあることから、指定管理者等に働きかけ、なお一層の医師確保に努めたい。

**委員** 遊休農地の面積は前年と比較してどうか。

**答弁** 昨年は25haで、その前は10ha台であった。今年は13ha程度の見込みである。

**委員** 森吉山荘とクウインス森吉について、令和3年度は市の直営で運営となったが、その要因をどう分析しているか。

**答弁** コロナ感染拡大による行動制限など、観光入込客の先行きを見通せず収入見込みを立てにくい状況であった。

**委員** スーパープレミアム付き応援チケット事業については、どう評価しているか。また、地域経済の活性化につながったと見ているか。

**答弁** 換金状況から、利用されている店舗を見ると、大

型店が31.9%、中小小売店が68.1%と市内の幅広い店舗で利用されており、地元経済への波及効果と消費活性化に寄与したと考えられている。



応援チケットが経済活性化に

**委員** ブナ森線は、8月の災害で全線通行止めとなった。それ以前から一部区間の通行止めが長く続いていた。全線開通に取り組めないか。

**答弁** 観光振興を図る上で重要なルートと認識している。国の「公共土木災害復旧事業」の活用を予定しており、復旧に向けて全力で取り組む。

**委員** 下水道事業維持のため今後の考え方は。

**答弁** 使用料の改定について検討している。

《本会議・最終日》  
**決算特別委員長の審査報告**

委員長 長崎 克彦

本委員会に付託された事件は20件でありました。9月12日に決算特別委員会を設置し、9月26日、27日に3つの分科会による審査を行い、10月4日には市長に対する総括質疑を実施しました。その審査の経過と結果についてご報告いたします。

認定第1号「令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定について」の審査では、反対と賛成のそれぞれの立場から「経常収支比率等は改善しているものの、高止まりの状況で、更に改善を求めているかなければならない」との反対討論、一方で「緊急経済対策など様々な対策を講じているほか、ふるさと納税の推進により増収に努めている」との賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第2号から認定第17号までの16件の特別会計については、すべて全会一致で認定すべきものと決しました。

認定第18号「令和3年度病院事業会計決算の認定について」の審査では、反対と賛成のそれぞれの立場から「決算の業績はいいが、新型コロナウイルス感染症との関わりをもっと分析する必要がある」との反対討論、一方で「病院事業は変動が大きい事業であり、単年度で判断するには難しく、長い目で見る必要がある」との賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第19号と認定第20号の2件の事業会計については、全会一致で認定すべきものと決しました。

活かそう市民の声

市政を問う!

一般質問

一般質問は、9月15日・16日の2日間で行われ、11人の議員が登場しました。

小笠原 寿 議員 (P8)

- ◆災害対応について
- ◆新型コロナウイルス感染症について
- ◆中心市街地活性化について

福田 牧子 議員 (P9)

- ◆感染症対策・予防接種の推進について
- ◆地域医療・在宅医療について
- ◆地域防災対策について

松橋 久敏 議員 (P9)

- ◆改正食品衛生法への対応について
- ◆林業振興について
- ◆義務教育学校阿仁学園について

板垣 淳 議員 (P10)

- ◆安倍元首相の国葬についての市の対応
- ◆統一教会に対する市の対応
- ◆学校教育について

福岡 由巳 議員 (P10)

- ◆8月の大雨災害について

虹川 敬 議員 (P11)

- ◆大雨被害について
- ◆当市の観光について
- ◆道の駅たかのすについて
- ◆森林管理について
- ◆撤去された元町跨線橋について
- ◆鷹巣中学校の登下校について

久留嶋 範子 議員 (P11)

- ◆大雨災害について
- ◆新型コロナウイルス感染症拡大対策について
- ◆湯ノ岱温泉の今後について

五代儀 義富 議員 (P12)

- ◆市の道路行政について

三浦 倫美 議員 (P12)

- ◆大雨災害対応について

佐々木 正史 議員 (P13)

- ◆第2次北秋田市総合計画(基本計画)について

◆農林業関係について

◆打当温泉マタギの湯について

佐藤 文信 議員 (P13)

- ◆8月における集中豪雨被害について
- ◆大館能代空港3便化について

小笠原 寿

(清明会)

QRコード



空港周辺に

PCR検査場を

Q 8月の豪雨災害に対し、家屋・農作物に対しての市独自の助成・支援策はないか。また、例年であれば支援対象とならない小災害にも支援を。

A 農作物は、被災により追加で必要となった病害虫防除・消毒薬剤・再生産に向けた種苗、生産資材などの購入経費などに対し、県補助金に市独自で補助率を上乗せするとともに、被害額が40万円未満の小規模農地や関連施設の復旧についても県と協調を図りながら、農家負担を軽減できるよう支援を行う。また、営農資金融資として、県及び金融機関と協議を図りながら無利子となるよう利子補給を実施する。住宅被害の復旧支援策として「住宅リフォーム支援事業」

により、工事費の一部に補助を行うなど支援策を講じる。



大きな被害が出た8月豪雨

Q 観光ルートとされる道路などを早期復旧させるべきでは。

A 国の「公共土木災害復旧事業」の活用を予定しているが、国による災害査定に2か月を要することから、その後の工事着手となる。

Q 大館能代空港の所在地である北秋田市は、県北の玄関口として感染拡大を防止するとともに、市民の不安を解消すべきと考える。安全安心な社会経済活動の継続に寄与するため、設置場所を提供してでも民間事業者の検査センターを誘致すべきと思うが市長の考えは。 A PCR検査センターの設置については、今後の感染状況を見ながら検討していく。



福田 牧子

(公明党)



医療・福祉  
サービスの充実を

**Q** 「子宮頸がん予防」ワクチンの男性への接種の推進が必要。自費で概ね3回、5〜6万円。世界の39か国で公費助成による接種が実施されている。実施できないか。

**A** 国の検討状況などの動向を見て感染予防と自己負担軽減のために助成について医師会とも協議し、検討していく。

**Q** 帯状疱疹(通称「つづりかじ」)は、50歳以上になると免疫力の低下に伴い発症し、発疹が治った後も神経に沿って痛みが残り、就業や日常生活に支障を来たす。予防ワクチンは、2回の接種で4万円と自己負担が大きく、治療にかかる医療費と比較しても公費助成が必要と考える。財源は、内閣府が「各自治体の判断で臨時交付金の活用は可能」としている。助成の考えは、交付金を使えるかを確認し、医師会とも協議していく。

**Q** 地域医療・在宅医療を担う医師の確保。阿仁診療所の内科常勤医師の確保状況は。

**A** 医師募集について取り組んでいるが、確保できていない。



常勤医師確保を推進する阿仁診療所

**Q** 自宅が最期を迎えたいという市民のニーズは大きい。在宅で看取りをするにも阿仁地域に医師がいけない。この状況に対する見解は。

**A** 地域の実情にあった在宅医療の充実に取り組む。

**Q** 避難行動支援者の「個別避難計画作成」の進捗状況は。

**A** 名簿を作成し関係機関と情報共有している。個別避難計画は今年度から着手した。

松橋 久敏

(清明会)



再造林の推進を

**Q** 森林資源の循環利用とカーボンニュートラルに貢献する再造林の推進についての考えは。

**A** 「第2次北秋田市総合計画後期基本計画」における令和7年度の目標値に対する令和3年度末の再造林面積は、33%の目標値に対して約10%と、経過値として目標を



スギ苗の植付作業

下回っている。今後も、市が行っている「民有林造林事業費補助金」の活用により、再造林を推進していく。

**Q** スギ人工林資源の活用と雇用の場を確保するため、大型製材工場を誘致する考えは。

**A** 大型製材工場については、隣接する自治体において令和5年度から誘致企業として新工場の稼働が予定されている。市としては、原木供給及び市内事業者の素材調達への不安等が懸念されるため、新工場稼働後の状況等、今後の動向を見守る。

**Q** 義務教育学校阿仁学園における教科教室型授業の継続、施設整備方針についての考えは

**A** 自然と調和した阿仁地区らしい学校を目指して整備する方針。PTA、学校から意見や要望を聴取し、3校の校長と協議を重ね設計業務を進めている。進捗状況を保護者や関係者にも丁寧に説明していく。教科教室については、多目的室2室を設け、教科ごとの指導も可能となっている。運動施設の体育館とグラウンドについては、小・中両方の基準に適合できるように設計業務を進めている。

板垣 淳

(日本共産党議員団)



QRコード



前田小の統合は  
十分検討を

**Q** 安倍元首相の国葬は、憲法違反だし世論も反対多数。市は弔旗掲揚や黙とうなどを市民に求めるべきではない。

**A** 市民に弔意表明は求めないし、市役所庁舎に半旗を掲げることもしない。

**Q** 統一教会について。正体を隠して寄付やイベント後援などで市町村に近づいている。当市は大丈夫か。この機会に総点検したらどうか。また、津谷市長自身は関わりはないか。

**A** 今回改めて調査・点検を行い、北秋田市では関わりがないことを確認した。私自身も一切関わりがない。

**Q** 前田小学校の統合について。前田小は、ななかど登山、冷水風穴

散策、田んぼアート、四季美湖へのイワナ放流など、地域活動が盛んである。統合すればこれらの活動はどうなるのか。

**A** 新たな統合先で協議することになる。

**Q** 教育委員会は議会に「米内沢小の校舎も校名も校歌もそのまま前田小が廃校になる」と説明したところ、その後の住民説明会では「2校とも廃校にして、新しい校名、校歌にしたい」と提案した。違うことを報告するとは、とんでもない。時間をかけてでも納得できる方針を。

**A** 議会説明のあと、前田地区の住民から意見が出されたので、ああった説明になった。再度、住民説明会を開いて方向性を考えたい。



今後の前田小、納得できる方針を

福岡 由巳

(無会派)



QRコード



合川集落の  
排水路の整備を

**Q** このたびの8月の大雨により合川集落では市道の法面崩落や床下浸水が発生し、これまで以上に被害が多くもたらされた。早急に改善すべきと考えるが。

**A** このたび想定を超える記録的な降水量によって引き起こされたものと認識しており、通常の雨量で

は既存の側溝で対応できると考えており、七丁目の法面崩壊については状況を確認し、国に災害復旧の申請を行っている。

**Q** 七丁目、四丁目一帯は、側溝の整備が十分でないことや、旧合川高跡地の放棄地状態が加わるなどから今後も被害が予想される。早めに調査して改善すべきでないか

**A** 担当課で調査し進めたい。

**Q** 松ヶ丘集落では、度重なる宅地浸水に及んでいる箇所がある。このたびの大雨によっても宅地浸水と数軒でトイレの逆流があった。早急に改善すべきである

**A** 排水路の一部が破損していたので、速やかに修繕対応を実施する。

**Q** トイレの逆流があった。トイレは公共下水道。これと冠水した生活排水溝は関係ないのか。どうなっているのか。

**A** 調査し確認する。

**Q** 杉山田、雪田地域について、度重なる小阿仁川の洪水により、営農者は意欲をなくしている。懸案であるその地域の築堤を急ぐべきでないか。

**A** 築堤については、小阿仁川水系対策委員会等を通じて県に要望していく。



究明が必要な合川集落の法面崩落



虹川 敬

(新創会)



QRコード

道の駅たかのす  
改装計画は

**Q** 道の駅建設にあたっては、地元産材を利用し、地元企業の力を結集し、リニューアルするべきでは。

**A** 木造化については、本市の豊かな森林資源の適正な整備と木材需要の創出など、地元産木材の利用促進が地域経済の活性化につながるものと考えるので、施設規模等の検討と合わせて判断していく。



現在の道の駅たかのす

**Q** 市内循環バスの道の駅たかのすへのアクセス構想があるが、開始時期とルートの確定はいつ頃を想定しているか。

**A** 「道の駅たかのす」への循環バスのアクセスについては、令和5年度から新たに始まる北秋田市公共交通計画を策定する中で市全体の公共交通の見直しを図ることとしており、既存バス路線との関係やルート、手法について精査の上、北秋田市地域公共交通活性化協議会において議論し、今年度うちにその方向性を決定する。

**Q** 森吉山の国立公園の大規模拡張候補地の発表を受け、今後市ではどう動いていくか。

**A** 森吉山の国立公園の編入又は国定公園の新規指定に向け、秋田県や関係市町村と連携し、市民及び地元諸団体と情報共有を行い、活動や取組について検討する。

**Q** 元町跨線橋の代替え道路建設は、いつ事業実施にあたり、市民への情報公開体制はどうなっているか。

**A** 本工事は令和5年度中の完成予定とし、令和6年度の供用開始を目指す。市民への情報公開は、10月をめどに地元町内会及び地権者への説明会を開催する予定である。

久留嶋 範子

(日本共産党議員団)



QRコード

被災した農業者に  
十分な支援を

**Q** 記録的大雨で甚大な被害が発生した。対策本部を立ち上げ、各部署任せでなく、被害状況を共有すべきではないか。

**A** 被害状況の調査や応急対策は、各部署が各分野を担っているが、適宜情報を共有し、対応している。  
**Q** 被害を受けた農業者が、営農意欲を失わないよう十分な支援を。

**A** 農業経営等再開支援事業により、県補助金に市独自で補助率を上乗せし、支援を行う。

**Q** 経験したことの無い大雨の中で高齢者や一人暮らしの方が、どこに避難したらよいかかわからず、また、避難所まで行けないなど、不安な思いで過ごされた方々が多数いた。支援体制は十分だったか。  
**A** 今後も自治会、町内会などと連

携しながら支援に努めていきたい。

**Q** 全国的に猛威を振るう、新型コロナウイルス感染。新学期が始まり、児童・生徒への感染も懸念される。定期的なPCR検査が必要ではないか。

**A** 小中学校の感染拡大対策として、県配布の抗原検査キットをすでに13校で活用している。定期的なPCR検査キットとなると医療従事者の負担も生じるので、3密の回避など基本的な対策が必要。

**Q** 7月に市営「湯ノ岱温泉」の譲渡事業者を公募したが、結果は。

**A** 内覧会には2人の参加があったが、応募申込には至らず、今後も引き続き市が運営する。行政として一定の役割は終えつつあり、大規模改修や修繕は難しい。



今後も市直営の湯ノ岱温泉



五代儀 義富

(未来きたあきた)



QRコード

事業見直し案の  
有効性を問う

- Q** 元町跨線橋撤去に至る経緯は。老朽化著しく、維持管理と安全性の確保が困難と判断したものの。新設工事の予定であったが、工事委託先JR東日本から当初示されていた工事費と工期について大幅な変更提示がなされ、市として事業の見直しを余儀なくされた。
- Q** 歩行者専用の元町跨線橋の代替え道路が車道になった経緯は。
- A** 有事の際の地区の避難路としての活用を考え歩車道とした。
- Q** 「跨線橋架け換え工事」としての事業目的を果たさぬまま「見直し案」で事業を終えるのか。
- A** 代替え道路の完成をもって終了と考えている
- Q** 市が「代替え」と主張する道路は周辺住民から「代替え」として



令和2年に解体された元町跨線橋

の評価が乏しく、この事業に対する納得感が極めて低い。新しい道路を無理やり「代替え」と称して事業終了とすべきではないと思う。

**A** 言わんとする趣旨は伝わった。道路の名称も含め、もう一度フィードバックしていいものを作っていききたい。

**Q** 鷹巣中学校の通学路として陸橋を見ると極めて不都合な危険箇所が見受けられるが、改善の考えはないか。また、ガードレール設置等の対策を講ずるべきはないか。

**A** 通学路の安全対策・確保は、各校PTAから要望を受けて市安全プログラムに従って改善に取り組んでいる。鷹巣中も学校・保護者・PTAの要望を踏まえ、プログラムに沿って取り組んでいきたい。

三浦 倫美

(日本共産党議員団)



QRコード

大雨災害の  
復旧対策は

- Q** 森吉地区桂瀬の上羽立の農業用ため池と下羽立の農業用ため池の決壊により失った水源の復旧策は。
- A** 国の農地・農業用施設災害復旧事業での復旧を目指し、概算被害額を基にした分担金の見込みなど、受益者への説明と、補助災害への事業申請の意向確認を行っている。



ため池決壊で失われた水源

引き続き、受益者の要望に寄り添い、営農意欲を失わせることがないように県とも連携して取り組む。

**Q** 秋田内陸線復旧への解決策は。

**A** 米内沢駅から前田南駅間の10か所で路盤流出や土砂流入、倒木などの被害があり、国・県及び事業者や土地所有者の理解と協力を得ながら、年内全線運行を目指す。

**Q** 側溝のあふれを防ぐ改善策は。

**A** 破損等による機能不全箇所は、計画的に改善しており、全市一斉クリーンアップで市内各自治会等の自助・共助で土砂上げを実施していただいている。高齢化などで泥上げが困難な地域には、要請があれば現状確認し、建設課直営作業員で対応している。

**Q** 災害対応職員の加重負担軽減を。

**A** 長期に及ぶ過重労働は、心身の疲労や業務能力の低下を招くため、他部署との連携を図り、適宜・適切な休暇取得を奨励し、健康管理に努める。職員のストレスや悩みなどに対しては、安全衛生委員会などで相談窓口として対応している。

**Q** 大雨被害、コロナ禍、物価高の三重苦で地域経済も打撃を受ける。市民応援チケットの増額か追加を。現状を見極め柔軟に検討する。

佐々木 正史

(清明会)



QRコード

## 第2次北秋田市

### 総合計画は

**Q** 滞留型観光として、森吉山スキー場第二駐車場にオートキャンプ場を整備できないか。

**A** 現在、北秋田市内には官民合わせて4か所のキャンプ場が整備されていることから、新たな整備は慎重に考えたい。



森吉山スキー場

**Q** 北秋田市の歴史文化を見学・体験させ関係人口の増加を促すため、

合川地区の小中校生を対象に猿倉人形芝居の継承振興ができないか。

**A** 地域の組織にも協力いただき、コミュニケーションとして小中校生への伝統文化の継承という点では大変有効と思っている。

**Q** スポーツ大会や各種競技のスキル向上を目指すところがあるが、小中学校にスナッグゴルフを取り込めないか。また、秋田北鷹高校にゴルフ部の新設を要請できないか。

**A** スナッグゴルフが地域内で広く普及した場合は、特別活動として実施は可能。高校でのゴルフ部新設は学校長の裁量による。

**Q** 再生可能エネルギーの推進について、農業用水路等の活用について検討できないか。

**A** 機会があればマイクロ水力発電について調べてみたい。

**Q** 農業用生産資材の高騰に対する市独自の支援は考えているか。

**A** 11月に農業団体と協議し、進めていきたい。

**Q** 鳥獣被害対策と有害駆除に迅速な対応を。

**A** 熊に関しては、原則、県の対応になるが、人的被害など市対応になる場合がある。即時対応している認識だが、現状を確認したい。

佐藤 文信

(新創会)



QRコード

## 土砂堆積撤去等

### への対応は

**Q** 8月の豪雨で河川の流れの障害となった土砂堆積の撤去や立木の伐採などへの今後の対応は。

**A** 市では毎年、河川維持工事として、浚渫しゅんけん工事や護岸工事を発注しているが、今回の被害を踏まえ優先度を考慮して実施する。

**Q** 森吉地区における農業用ため池が崩落し、用水確保が困難な状況である。復旧に向けて地域住民への説明会の実施は。

**A** 去る8月26日に当該ため池の受益者である水利組合役員5名の方に、災害復旧事業の概要を知らせている。また、去る8月31日には、上羽立集落で座談会を開催し、概算被害額及び復旧に係る分担金額、実地査定等の日程を説明した。災害規模が大きいことから、令和5

年度の水稻作付までには復旧できない見通しであることを説明した上で、補助災害への事業申請の意向確認を行っている。

**Q** 内陸線では、土砂の流入や路盤の流出等が発生。復旧の見通しと対策は。

**A** 年内の全線運行再開を目指している。災害復旧費は約2億5000万円、国から6250万円、県と市が6250万円、会社負担分として1億2500万円発生するが、県と市で協調補助について協議をしている。

**Q** 大館能代空港3便化を見据えて当市の政策に結び付ける方策は。

**A** 3便化定着が喫緊の課題。羽田乗り換えが便利になり、企業のビジネス利用を助成対象に拡大する。



川岸に堆積する大量の土砂



## 第4回臨時会

## 令和4年度 一般会計補正予算

2億9736万2000円を追加

可決

第4回臨時会が8月1日に開かれ、上程された予算案1件を審議しました。

今臨時会に上程された補正予算には、物価の急激な高騰に伴う緊急支援予算が計上され、そのうち「市民応援チケット事業」は、市民全員に1人あたり5,000円分のチケットを配布するもので、予算額は1億6315万2000円。

議案に対する質疑では、議員から「物価高騰による市民の負担は非常に大きく、この金額では足りない。増額が必要では」との質疑があり、市長は「この事業は、市民の経済的負担を軽減を図るための、あくまでも応援事業である。少しでも多く支給したい思いは私もあるが、やはり財源に限りがあり、近隣市町村も参考にしながらこの金額とした」と答弁。審議の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 《一般会計補正予算の主な事業》

- ▷交通系ICTカード導入事業  
1,083万9000円
- ▷市民応援チケット事業  
1億6,315万2000円
- ▷トラック運送燃料高騰緊急支援事業  
402万6000円
- ▷指定管理施設燃料費等高騰対策事業  
5,060万円
- ▷県産米品質向上支援事業  
576万9000円
- ▷大館能代空港3便化応援市内観光文化施設  
無料招待事業 2,940万6000円
- ▷森吉山自然体験型イベント実証実験事業  
1,272万円
- ▷学校給食支援事業  
894万9000円

## 所管事務調査報告

議会運営委員会

町田市、品川区を  
視察研修

## 調査項目

- ▽ICT化について
- ▽住民参画について

議会運営委員会では、7月12日に東京都町田市、13日に品川区で所管事務調査を実施しました。

町田市では、議会改革として、議会に関心をもってもらうために議会報告会を行うのではなく、議会に来てもらうために様々な取り組みを進めてきたとし、一例として、議会での手話通訳者の派遣や母子専用の傍聴室の設置、「議会を開きます」ポスターの民間路線バス等への掲載など、今までの取り組みについて説明がありました。ICT化については、早々に議会タブレットを導入した実績があり、メリットとして、会議に必要な資料が入っていて差し替えも簡単。ペーパーレス化で環境に優しい。コストの面でも良いとの説明があり、デメリットとしては、完全ペーパーレスの場合、紙資料で

のメモができない。タブレット上のメモはできるが細かい字に対応が難しいとの説明がありました。今後タブレット導入を控えている当議会に対して、端末使用基準などを定めておいた方がいいのでは、とのアドバイスもいただきました。



町田市ではICT化を視察

品川区では、区民との意見交換会は、全区民対象に呼びかけているのではなく、女学院や高齢者クラブなどターゲットを絞って試行錯誤しながら意見交換会を実施しているとの説明がありました。また、ICT化でペーパーレス化を目指すのではなく、あくまでも議会機能の強化として取り組んでいるとの説明を受けました。

両市の取り組みを参考に、当議会でも更なる議会改革へと取り組んでいきます。





## 議会を傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださるようお待ちしております。

次の定例会は12月の予定です

各常任委員会の会場

総務文教（阿仁庁舎）／市民福祉（森吉庁舎）／産業建設（合川庁舎）

## 市議会へご意見をお寄せください

市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています。

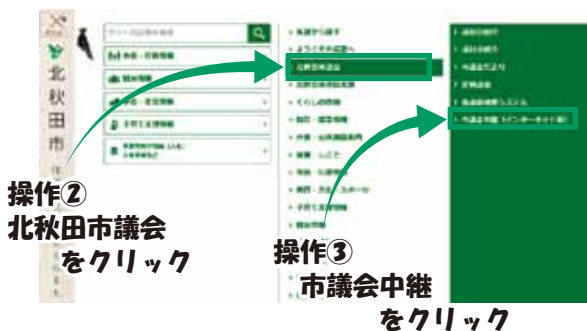
- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392  
北秋田市花園町19番1号  
北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

### パソコン

〔北秋田市ホームページ〕



操作① メニューをクリック



操作②  
北秋田市議会  
をクリック

操作③  
市議会中継  
をクリック

### スマートフォン・タブレット

- ① QRコード読み取りアプリを起動して下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像  
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタンを押してください。

〔議会中継のページへ〕



操作④ 再生をクリック  
（本会議の生中継がご覧になれます）

本会議の生中継や録画映像がスマートフォンやパソコンなどでご覧いただけます

# 議会の動き

<7月16日~10月15日>

7月

- 19日・広報特別委員会
- 20日・北秋田市首都圏企業懇談会
- 21日・秋田県市議会議長会定例会
- 25日・議会運営委員会
- 29日・米代川治水期成同盟会、秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会、日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会、令和4年度合同総会

8月

- 1日・第4回臨時会  
・議会運営委員会  
・広報特別委員会
- 2日・令和4年第3回北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会定例会
- 4日・市民福祉常任委員会  
所管事務調査
- 9日・総務文教常任委員会  
所管事務調査
- 10日・秋田県北部市議会連絡協議会正副議長・事務局長会議
- 18日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 19日・一般国道103号線改築促進期成同盟会、大館十和田湖線工事促進期成同盟会 令和4年度合同総会
- 22日・小阿仁川水系対策委員会  
総会・小阿仁川流況調査
- 24日・産業建設常任委員会  
所管事務調査
- 29日・議会運営委員会
- 31日・議会運営委員会

9月

- 12日・9月定例会（初日）  
・決算特別委員会全体会  
・広報特別委員会
- 15日・本会議 一般質問①
- 16日・本会議 一般質問②  
・議会運営委員会
- 20日・総務文教常任委員会  
・市民福祉常任委員会  
・産業建設常任委員会
- 26日~27日  
・決算特別委員会分科会  
└ 総務文教分科会  
└ 市民福祉分科会  
└ 産業建設分科会

# 議会報告会 を開催します。

参加の申込みは不要です

開かれた議会及び議会活性化を推進するため、議会報告会を開催し、議会の活動状況をはじめ、特に議論となりました話題などについて報告します。

参加の申込みは必要ございませんので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

テーマは、「コロナ対策」と「防災」

A班

<班長> 虻川 敬  
<班員> 福田牧子 / 三浦倫美 / 長崎克彦

鷹巣地区

[日時] 11月13日（日） 10時~12時  
[場所] 市民ふれあいプラザ コムコム

B班

<班長> 永井昌孝  
<班員> 中嶋洋子 / 杉渕一弘 / 板垣 淳

合川地区

[日時] 11月13日（日） 10時~12時  
[場所] 合川公民館

C班

<班長> 佐藤文信  
<班員> 小笠原 寿 / 久留嶋範子 / 佐々木正史  
佐藤光子

森吉地区

[日時] 11月13日（日） 10時~12時  
[場所] 森吉コミュニティセンター

D班

<班長> 佐藤重光  
<班員> 福岡由巳 / 松橋久敏 / 五代儀義富

阿仁地区

[日時] 11月13日（日） 10時~12時  
[場所] 阿仁ふるさと文化センター

10月

- 4日・決算特別委員会各分科会
- 6日・決算特別委員会全体会  
・議会運営委員会  
・広報特別委員会
- 11日・9月定例会（最終日）  
・議会運営委員会
- 11日・一般国道103号改築促進期成同盟会、大館十和田湖線工事促進期成同盟会  
合同視察

- |                  |                  |                       |                       |                  |                       |
|------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|
| 委<br>員           | 委<br>員           | 委<br>員                | 委<br>員                | 副<br>委<br>員<br>長 | 委<br>員<br>長           |
| 佐<br>藤<br>文<br>信 | 中<br>嶋<br>洋<br>子 | 久<br>留<br>嶋<br>範<br>子 | 佐<br>々<br>木<br>正<br>史 | 福<br>岡<br>由<br>巳 | 五<br>代<br>儀<br>義<br>富 |

広報特別委員会